

朝小・サピックス 共同企画

地球環境を考える

キョクさんと学ぶ世界の生き物事情

この記事は2023年3月23日に掲載したものです

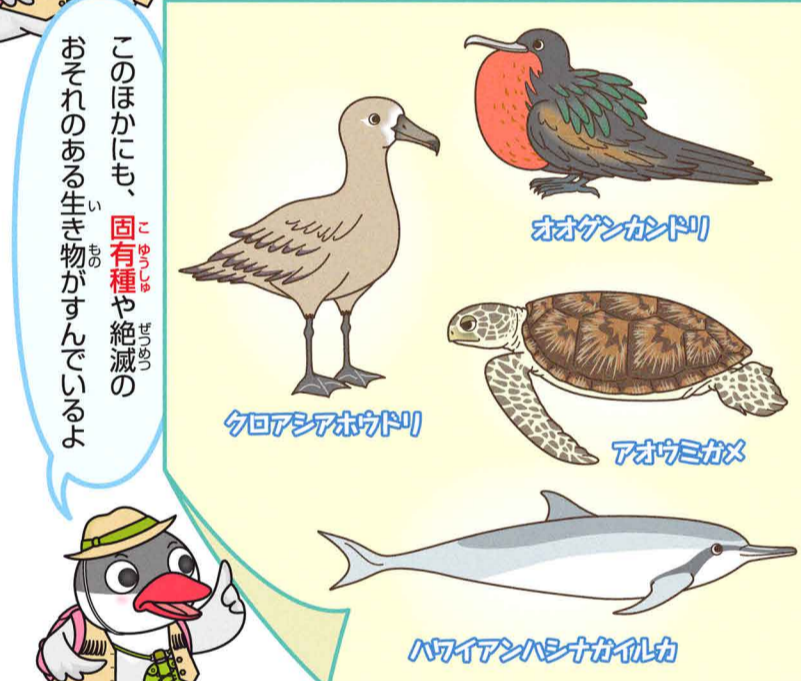
企画・編集 SAPIX 環境教育センター
www.sapientica.com/eco/
SAPIX YOZEMI GROUP

場所 ミッドウェー環礁



ハワイ諸島の北西にあるミッドウェー環礁は、おにぎりのような形をしています。世界最大級の海洋保護区でもあり、世界遺産に登録されています。

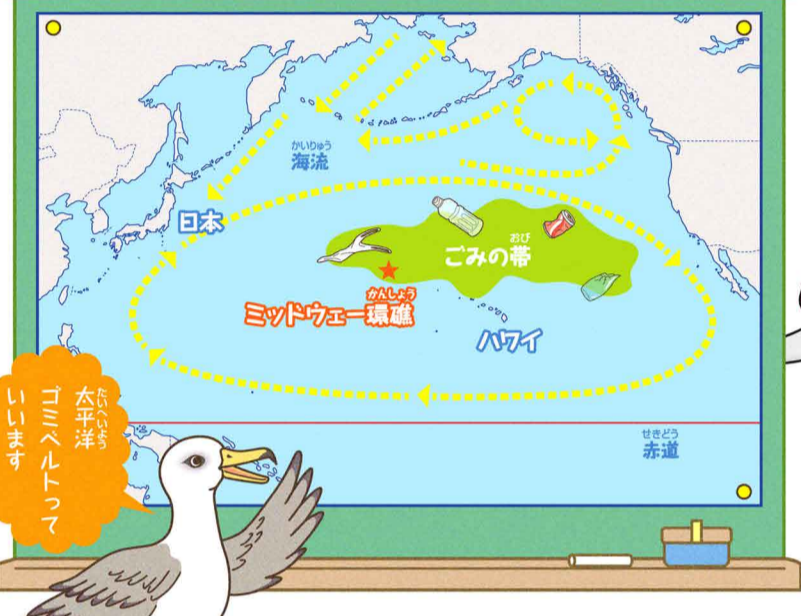
人が立ち入ることはほとんどないこの環礁は、海鳥や渡り鳥の海の生き物の楽園だよ



でも、近年、この楽園にすむ生き物たちを苦しめているものがある

それは、島やその周辺に流れ着くプラスチックをはじめ、漁業で使うあみやロープなどの人工物だ

なぜ小さいサンゴの島に大量のごみが集まってくるのかというと太平洋沿岸の国や船から流れ出たごみが、海流や風のえいきよつで大きな帯のようになっている場所がある



ミッドウェー環礁はその帯上にあるため、たくさんのごみが集まってしまうというわけ

いちばんやっかいなのは、島に流れ着く多くのごみがプラスチックであることだよ

アホウドリの仲間などが、食べ物とまちがえてプラスチックなどを飲みこむと、消化管に詰まって死んでしまうことがある

それに親鳥からあたらされたプラスチックでお腹がいっぱいになり、巣立つ前に弱って死んでしまうものもある。死んだひなの胃から大量のプラスチック類が見つかったこともあるんだって

プラスチック類は、どんなに細かくなっても消えてなくなることはない。また、海中や海底にしずんでいけばくまなく回収はむずかしい

人が出したごみによって生き物の命がうばわれている。そして、このごみ問題は地球全体にえいきよつするまでになっ

ごみを全く出さないというのはむずかしいけれど、ごみを少なくする努力となるべく物を使い捨てる生活を心がけることはできるんだよ

SAPIX からのお知らせ

生物多様性って何？いろいろな生き物がいること、カードゲームを使って生物多様性の謎にせまり、わたしたちは自然や生き物たちのみよつさあつていけばよいのかを考えましょ

対象学年：新小学4年生
受講料：4,400円(税込)

申込期間：2月26日～3月10日

海のユニーク生きもの図鑑

【ハワイモンクアザラシ】

すみか ハワイ諸島
大きさ 2メートル
食べ物 魚、タコ、ロブスター
特ちょう あたかき場所にすむめづらしいアザラシで、砂浜で横たわって休みます。肉や毛皮を目的にした乱かく、すみかの減少、漁業による混かくなどが原因で数が少なくなり、絶滅危惧種になっています。保護のため、このアザラシにさわったり嫌がらせをしたりすることは禁止されていて、少なくとも45メートル以内に近づかないよう呼びかけられています。2021年の調査では1500頭以上がかくにんされていて少しずつ数が増えているそうです。

キョクさんのニューストピックス

太平洋のごみを回収するシステム開発!?

「太平洋ゴミベルト」とよばれる海域のごみを何とか回収しようと、さまざまな技術開発が行われているよ。その中でも今最も注目されているのが、オランダで開発された装置「システム03」。全長2500メートルのU字型のごみ収集装置を2艘の船で引っ張りながら、水面に浮かんでいるごみを集める仕組みになっている。ちなみに、ドローンにごみを探知する機器をのせてごみの場所を特定しているよ。2040年までに「太平洋ゴミベルト」のごみを90パーセント回収することを目指しているよ。

The Ocean Cleanup

The Ocean Cleanup

回収されたごみ

キーワード

【固有種】特定の地域でしか生息、繁殖

【世界遺産】世界中で協力して守っていく価値があると認められ、厳しい審査に合格し、ユネスコ(国連教育科学文化機関)の世界遺産リストに登録されているもの。文化遺産、自然遺産、複合遺産の3つがある。

【混かく】漁業で、目的以外の生き物があみやつり針にかかってしまうこと。

【絶滅危惧種】数が減っていき、地球上から1つもいなくなってしまうことが心配されている生き物。心配の程度によってランクがある。

【乱かく】生き物をむやみやたらにとること。

【こぼれ話】太平洋戦争のときに、ミッドウェー環礁をめぐる日本軍とアメリカ軍との間で激しい海戦が行われました。戦後は自然保護区となり環境教育などの場として、一般の人を受け入れたのですが、当時の施設運営会社がやめてしまったら、自然保護に厳しく取り組むようになったりして、今は一般の人が立ち入ることではできません。